



高坂進 ニュース

日本共産党
市川市議団
高坂進個人版
2013.9.4
第6号

市川市大洲
4-1 4-9
727-
9821

9月議会は9月6日から

9月議会が9月6日から始まります。市から提案された議案は案例8件、補正予算5件、計約2件、指定管理1件などです。条例では、市長、副市長、監査委員、教育長の退職手当を20%引き下げるもの。市税条例の一部改正、市川市中小企業資金融資制度および利子補給条例の一部改正などです。また、今議会では決算特別委員会が開か



れ、24年度決算のついて審議をします。私は、今回の決算特別委員会の委員となっています。一般質問では、市政戦略会議の答申について質問をする予定となっています。市政戦略会議は8月27日に会議が行われ、公民館などの使用料についての答申がまとめられ、9月中旬に答申が出されることになりました。この答申では、公民館などの使用料は現在の7倍以上に引き上げる必要があり、当面でも4倍ぐらいに引き上げるようにという答申となる予定です。今までは、公民館などの使用料は人件費や光熱費、備品などの費用をもとに決めていましたが、今度の市政戦略会議の答申では、今までの費用にプラスして退職給与引当金や公債費利子などを計算し、その費用の50パーセントを使用料とするというもので、市政戦略会議に出された資料ではある公民館のAという部屋の使用料を

計算してありますが、それによれば、1時間当たりの費用は3600円となり、その50パーセントということで使用料は1時間当たり1800円が妥当とい

国保運営協議会開かれる 質問は2人だけ

7月31日、午後1時半から国民健康保険運営協議会が開かれました。国民健康保険運営協議会は毎年、7月と1月頃に開かれます。1月は、2月議会に提案される予算案について議論され、7月議会は主に事業報告が出され、議論します。

今年6月議会でも出された専決処分報告と事業報告、そして、特定健康診査等実施計画が出されて議論しました。

専決処分についても6月議会でも議論されましたので他の委員からも質問がなかったために議論にはなりません。

事業報告に対しては、被保険者代表委員の一人から質問が出され、私も質問をしましたが、質

うことになり、現在の250円とは乖離しすぎているので、当面1000円までは引き上げるべきという答申となります。民間と同じ考え方をするというところであり、これでは市民負担が大幅に引き上げられ、サークルなどみんな金を出し合っていてやっている活動もできなくなってしまうのではないのでしょうか。

問はこの2人だけ。私は、短期被保険者証で保険証が滞留している人たちと資格者証の人たちの受診状況、一部負担金の減免が他市に比べて少ない理由、保険税の減免数も他市に比べて少ないのでその理由。そして、無料低額診療がどれくらい行われているかなどを質問しました。

しかし、短期被保険者証と資格者証の受診状況については調べようとするべしとされるが、現在は資料がないということ。保険料や一部負担金の減免が少ない理由については他市の問い合わせをしてみると回答。無料定額診療については保険請求でほかの受診と区別できないようになっているのでわからないというも

広域化では 解決しない

のでした。国保は、広域化に向かっていると進んでいきますので、これからしっかりとみていかなければなりません。

国保財政が大変厳しく、各自自治体で一般会計から法定外繰り入れを行うことによって運営されていますが、これを法定外果あれをなくして、市が運営している国保を県の運営に変えていくというのが広域化です。広域化することによって何の解決にもならないどころか、市民負担はさらに増え、運営が大きくなることになって市民の意見がますます反映されにくくなってしまいます。国保の財政が大変なのは、国が負担金を大幅に削ったのが最も大きな原因です。国保の広域化ではなく、国の負担を増やして「誰でもが払える保険料」にしていくことが唯一の解決法です。

国民健康保険運営協議会は国保法で定められており、協議会をつくり、国民健康保険の施策について協議、することになっていますが、今回の協議会でもわかるように質問する人も少なく、形骸化してしまっているといってもいい状況です。もっと市民が国保運営協議会にも目を向け、傍聴などもして、しっかりと役割を果たすようにしていかなければなりません。

自治体学校に参加

自治体学校「新潟」に7月3から5日まで参加してきました。基調講演の渡辺治氏は参議院選挙後の情勢について講演。頭を整理する上で大変参考になりました。

した。共産党も前進したが、自民党も得票も増やしていること。原発や「FD」などの市民運動が政治に影響を及ぼし始めていることなど、なるほどと思うことが

原爆世界大会に参加

歩き、汗びっしょりになりました。しかし、途中で平和公園に寄って9日の記念式典の用意をしている光景を見、

8月7日、9日まで長崎で開かれた2013年原爆禁止世界大会に参加しました。若い人たちの参加が多いことにまずびっくり。9日の閉会大会では若い参加者からの発言がありました。次から次へと大勢で演壇上るのを見て「日本の未来も明るいかも」という感じがしました。オリバー・ストーン監督の話もなかなか面白く感じました。「歴史は大変無残なものだが、その歴史を日本はしっかりと学ぶことが必要だ」「原爆投下

式典の用意をしている光景を見、爆心地でも同じように式典の用意をしているのを見ることができました。長崎は山に囲まれた結構狭い地域であることがわかります。ここに、原爆が落とされどんな悲惨な状況となったかが想像できました。

2日目の分科会では帰りに会場からホテルに1時間以上もかけて



話されま

した。

分科会では、新潟の酒造組合の話が大変面白く地域

経済の問題を考えると、大変参考になるものと思いました。

新潟には90を超える酒蔵があり、ほとんどその数が減っていないこと。もし、廃業に追い込まれるような問題が起きた時には酒造組合が解決のために大変大きな役割を果たすような体制ができています。酒造組合が大変寄与していること。また、酒を造るだけでなく、原料となるコメ作りまでしっかりと考える酒造会社がある。品種改良のための資金まで出して、品種改良して酒造りのための米(越の淡麗)まで開発した話など大変面白く、地域経済を考えるうえで勉強になりました。

また、中央大学の八幡教授は地域経済の振興策として「ないものねだりはしないこと」を強調し、その地域に基盤がないにもかかわらず、IT産業など、ベンチャービジネスを地域経済の振興策の中心にするなどというところはほとんど失敗するということ。あくまで、その時にある資源を生かす中で新しい産業が生まれることもあるが、それを振



日本の青空パルトIII 「破られたパルトIII」上映会

7月31日、午前10時より

中央公民館で第2回「日本の青空パルトIII 渡されたパルトIII 実行委員会」が開かれ、私も初めて参加しました。参加者は14、15名くらい。この映画は、新潟県の巻町に東北電力の原発建設計画に対しての住民の反対運動を描いたもので、脚本はジェームス三木さんです。住民投票で原発建設をやめさせた25年くらい前の事件ですが、大変有名な運動でした。この映画の上映を成功させようという実行委員会です。上映日程は次の通りです。

- 10月2日(水)
 - 第1回 10:30~12:30
 - 第2回 14:00~16:00
 - 第3回 18:00~21:00
- 場所:市川文化会館
費用:
前売り券 1,000円
当日券 1,500円

興策の中心にすることは失敗のもとということでした。地域経済の振興が大編集のような現在、大変重要な指摘だと思いました。

実行委員会としては多くの方たちに券の普及に協力していただき、上映会を1,000以上の参加で成功させているという事になりました。原爆と原発は双子の兄弟といわれます。核の平和利用などあり得ないことがますますはっきりしてきています。多くの人の参加で成功させるよう協力ください。

